

第 3 次天草市総合計画（考え方）

2030年の天草市の姿のイメージを共有し、市民と行政が

一丸となって目指す ともにつながり、ともに作り上げる計画 です。



○より多くの市民の意見を反映した計画

- ・まちづくりワークショップの実施（3月）
3地区（4回）＋高校生ワークショップ
- ・市政アンケートでの設問の追加
問) 10年後のあなたの暮らしはどのようになっているといいと思いますか。
問) 10年後の天草市はどのような“市”になっているといいと思いますか。
- ・市政座談会の開催

○市民の皆さんにも考え・取り組んでいただける計画

- ・「市民」⇒「私たち」と表現
- ・分かりやすく、共感できる内容

第2次天草市総合計画（基本構想）

基本理念 あるべき姿

人が輝き 活力あふれる 日本の宝島“天草”

将来像 目指すべき方向

- I 豊かで活力ある産業のまち
- II 文化を育み人が輝くまち
- III 安らぎのある快適なまち
- IV 未来を拓く社会基盤が充実したまち
- V 自治体経営が安定したまち

市民が住み続けたいと
思う環境指標

23の環境指標を設定

- ・基幹産業が潤っていること
- ・市民が地域で生き生きと暮らしていること など



第3次天草市総合計画（基本構想）

将来像 2030年の天草市の姿

(素案)
ともしながり 幸せ実感 宝の島“天草”

理念 将来像の実現に向けた取り組みへの理念
(目指すこと)

(素案)

『ひと』を視点においた理念	未来を創る人が育つまち
『経済』を視点においた理念	つながり稼げるまち
『暮らし』を視点においた理念	やさしさと安心のまち
『環境』を視点においた理念	自然とともに創るまち

市民とともに目指す
2030年のありたい姿

3月末までに各部門において検討し、(素案)を作成

第3次天草市総合計画基本構想 将来像（素案）

第3次天草市総合計画（2023年4月～2030年3月）までに目指す天草市の将来像

将来像

（素案） ともにつながり 幸せ実感 宝の島“天草”

今後、下記の内容及びワークショップ等の意見を反映させ、文章化したものを作成します。

※「ともにつながり」

私たちが、何事にも「他人ごと」ではなく、「自分のこと」・「みんなのこと」の気持ちを持ち、ともに手を取り合い、ともにチカラを合わせたまちづくりができていることを表現しています。

※「幸せ実感」

私たちが住んでいる天草を見つめ直し、夢と誇りを持ち、安心安全で充実した日々が送れていることを表現しています。

※「宝の島“天草”」

天草市には、のさりの心をもつ「ひと」と豊かな自然や豊富な農林水産物、独自の伝統・文化など誇れる多くの「地域資源」があります。これは素晴らしい宝です。その一番の宝である「ひと」が地域を見つめ直し、ともに磨き上げることで、より光輝く魅力ある宝の島“天草”となっていることを表現しています。

第3次天草市総合計画基本構想 理念（素案）

将来像の実現に向けた理念（目指すこと）

■「ひと」を視点においた理念 『未来を創る人が育つまち』

天草の未来像を描くのは私たちという気持ちを持ち、ともに手をたずさえ、ともに行動し、地域のつながりを深め、私たち一人ひとりが役割を持って活躍するまちを目指します。

また、多様な文化を感じ、認め合い、私たちの誰もが感謝の気持ちを持ち、天草に愛と誇りを持つまちを目指します。

（主な分野：地域振興、文化、教育）

■「経済」を視点においた理念 『つながり稼げるまち』

これまでにない様々な考え方を取り入れ、農林水産業や商工業、観光業などの様々な産業がつながり、新たな経済社会の仕組みを生み出し、“なりわい”を創出するとともに、誰もが安心して働く場所があるまちを目指します。

（主な分野：経済、観光）

■「暮らし」を視点においた理念 『やさしさと安心のまち』

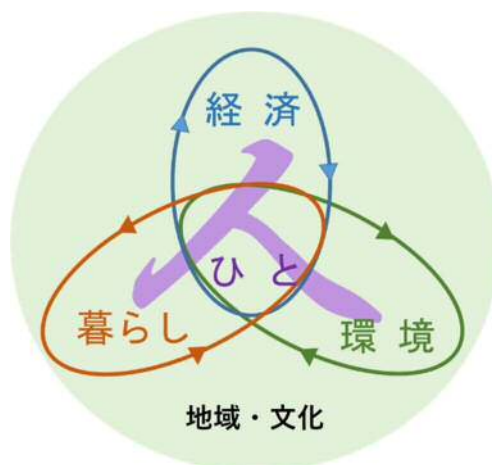
未来を担う子どもたちを育み、お年寄りはいつまでも元気に暮らし、私たち一人ひとりがお互いにやさしさと思いやりの気持ちを持ち、地域ぐるみで助け合い、支え合う安心して住み続けるまちを目指します。

（主な分野：福祉（保健・医療も含む）、防犯防災、都市基盤、総務・企画）

■「環境」を視点においた理念 『自然とともに創るまち』

天草の豊かな自然環境を教育や産業など様々な分野に取り入れ、ひとと自然がつながる仕組みにより、自然を愛し、自然に寄り添うまちを目指します。

（主な分野：生活環境）



第3次天草市総合計画基本構想（素案）

理念イメージ図